

鳥取砂丘コナン空港の収支について

令和 8 年 4 月 1 日
空 港 振 興 室

鳥取砂丘コナン空港の空港運営の状況をわかりやすくするために、同空港に係る経費を取りまとめた空港収支を作成しましたのでお知らせします。

なお、本県では、予算編成過程の公表を通じて、空港管理費や空港整備費などそれぞれの事業については別途情報開示しています。

参考までに、全国の空港においても、運営コストの縮減や効率的な運営、有効活用を推進するために、空港収支が公開されています。

令和 6 年度 鳥取砂丘コナン空港 空港収支

(単位:千円)

項目	金額(県)	金額(運営権者)
歳入 (A)	565,323	1,456,895
運営交付金収入	0	464,139
着陸料等収入	0	63,222
土地建物等貸付料収入	0	57,455
国庫補助金・交付金等	546,819	0
借入金	0	0
航空機燃料税	18,504	0
諸収入	0	872,079
歳出 (B)	1,612,512	1,520,324
空港整備事業費	859,002	0
空港等維持運営費	662,222	1,520,324
土地建物借料	19,474	0
県有資産所在市町村交付金	23,526	0
借入金償還	48,288	0
翌年度消費税還付額 (C)		36,943
歳入－歳出 = (A)－(B)+(C)	▲ 1,047,189	▲ 26,486

注)

・平成30年度からは、国際線ターミナルも空港収支に含めています。

《運営権者》

- ・令和6年度の航空機利用者数は、6年ぶりに40万人を超え、一般来場者数は、過去最高となりました。これらの影響もありテナント店舗収入が増加するなど営業収入が増加しましたが、人件費や資材費の高騰・臨時的経費により維持管理費が増加しており、収入が増加したものの、費用増加を吸収できるほどの収入増には至らず、赤字となりました。
- ・平成30年7月から、鳥取県は鳥取空港ビル株式会社と鳥取県営鳥取空港特定運営事業等公共施設等運営権実施契約を締結したため、鳥取県営鳥取空港特定運営事業の収支状況についても合わせて掲載しています。詳しくは、運営権者である鳥取空港ビル株式会社ホームページ内の「鳥取県営鳥取空港特定運営事業実施計画・実施状況報告」をご覧ください。

《鳥取県》

- ・「空港整備事業費」は、航空灯火 LED 更新事業および滑走路端安全区域 (RESA) 整備事業を実施しています。
- ・「空港等維持運営費」は、主に運営権者に対する「運営交付金」を計上しています。この他、国際線ターミナルビルの空調機器や非常用発電機の更新等を計上しています。また、化学消防車 (10,500L級) の購入に係る経費も計上しています。